

Rikkyo Club of Executives & Professionals 立教経済人クラブ

発行所：立教経済人クラブ 発行人：和田成史 編集人：徳澄範光 事務局：TEL.03-3985-3135 <http://www.r-keizaijin.net/>

朝食勉強会 アベノミクスに踊らされることなく、「市場創造に挑め！」

講演：立教大学経済学部教授 山口義行先生 2013年10月24日

今回の朝食勉強会は、立教経済人倶楽部の立ち上がり時期からの関わりも深い、立教大学経済学部教授で金融論専攻の山口義行先生に、『アベノミクスに踊らされることなく、「市場創造に挑め!」』をテーマとして、現在の金融システム上で展開されている政府政策の問題点、課題点や、企業経営者が今まさに取り組むべき考え方、戦略を明快に説いていただきました。

最初のお話では、日銀と金融機関の2つのお金の蛇口は同期したものではなく、日銀がいくら市場へのお金を増やそうとしても、金融機関側の施策が正しく行われない限り、お金は市場へは出てゆかない。結果、我が国の景気は決して良くはならないということ、むしろ中小企業に代表される内需型企業では、今後の消費税増税も重なり、輸出型大企業との格差がますます広がってゆくという懸念があると、鋭い論調で突いていただきました。

また次に、こうした政府政策・金融政策の抱える矛盾や厳しい状況の中で、『事業コンセプトの転換を図る』ことで全国トップクラスの預貸率を誇り、大躍進した某信用金庫の経営取り組み事例を挙げていただき、経営者の戦略的視点を明確に指導いただきました。

某信用金庫は、「単なる金貸し業」から「事業創造支援業」に事業コンセプトを変換し、1,000人を超える専門家による「情報提供」と「経営課題解決」に取り組み、企業、経営者に有用な人、情報のリソースを提供することで新たな資金需要を引出し、本来のお金の提供へ結びつけるというものでした。



その中で最も印象深かったのは、「失敗しても大丈夫。当行は決して逃げない。」という『安心』をお客様に提供することに注力したということです。結果、不良債権率は全国平均を大きく下回る(半分以上)成果を出しているという事実。某信用金庫の事業コンセプトは、銀行が「人」と「情報」、そして「安心」を提供することで、本当の意味でお金が循環するという示したベストプラクティスでした。

最後に山口先生の主宰される中小企業経営者のための「知的サポートネットワーク団体」"Small Sun(スモールサン)"のご紹介がありました。<<http://www.smallsun.jp/>>

中小企業に必要な情報の提供を、専門家より提供するという活動を通じて、個々の企業の発展のみならず、中小企業の社会的地位の向上を目指しています。今回の某信用金庫 理事長へのインタビューを含め豊富な事例を紹介していますので、

是非皆さんもサイトにてご確認(※)くださいませ。
(※)すべての記事の閲覧には会員登録が必要です。

—狩野 英樹 S63化—
—田中 克哉 H2法—

山口義行

1951年愛知県生まれ。
立教大学経済学部教授金融論
専攻

中小企業サポートネットワーク
(スモールサン)主宰

スモールサン・エグゼクティブ・プロデューサー
経済学者として金融・経済に関する研究や政策提言を行う一方、スモールサン主宰として中小企業支援活動を行っている。外務省参与として中小企業の海外進出支援に関わるほか、関東経済産業局「新連携支援」政策の事業評価委員長として中小企業の連携支援政策に携わっている。
TV、ラジオ等でのコメンテーターおよび執筆等多数あり。



他団体交流会

今年2013は、昨年よりも更にスポンサーが充実し、遂に参加賞に加えて全員に賞品が行きわたる、大変豪華な大会の予定でした。

残念ながら延期とせず、交流ゴルフの中止を決定させて頂いたのは以下の理由です。

(1)代替スケジュール不可能

台風で当日プレイが出来ず、賞品をご提供頂いた経済人の皆様の参加可能なスケジュールを見つけ出すのは不可能でした。

(2)28個の食品参加賞

今回は計画通りの28名の参加者を予定し、全員分の食品のおみやげを手配済みでした。(幹事個人での、28個、食品買取は過酷です。)

(3)賞品スペックの陳腐化懸念

腕時計ゴルフナビ、飛距離ぶっ飛びドライバー、激スピンのウエッジなどを賞品で手配していましたが、現在の最新型も、来年では型落ちとなってし

まう可能性がありました。1年間、ホコリをかぶらせておくのも、もったいない話です。

そこで厳正な抽選にて、順位決定し該当賞品を郵送致しました。順位別の賞品内訳はコンペのために事前に決定しておりました。

台風でコンペ中止の場合に備え、1位から28位までの順位決定のくじを作成しておりました。台風の中、よみうりゴルフ倶楽部までお集まり下さった4名(立教2名、他団体2名)の立会いのもと、厳正に抽選を行い順位決定致しました。

ここからは余談ですが、「嵐」はまだ続きます。梱包、宛名書き「嵐」です。

ゴルフ場に送付手配していた参加賞の賞品を持ち帰り、改めて順位毎に賞品を仕訳しました。

生まれて初めて、梱包用のプチプチを2ロール買いました。20余りの梱包作業と宛名書きを一人では行えず、家族の応援を仰ぎつつ、自宅が配送倉庫と化しました。困った時に協力してくれた、「家族の絆」を味わう事が出来た事は嵐の中の小さな幸せでした。



—安東 隆司 H1社—

<賞品提供下さったスポンサー様一覧 敬称略>

OBC、インペリアルキッチン、帝国ホテル、とんでん、ワコーエンジニアリング、TANAKAYA、巨牛荘三番町店、フォーティーン、GDO、ゴルフドゥ、ゴルフパー フラット、リシュモンジャパン

経済学部 — 経済人クラブ 復興支援と連携強化のための 意見交換会及び懇親会を開催



まずは沿岸部の復旧工事が進められているがまだまだ時間を要する。

平成25年10月23日(水)立教大学池袋キャンパス12号館4階共同研究室にて、経済学部の先生方と経済人クラブとの意見交換会を開催しました。経済学部からは郭洋春経済学部長、池上岳彦教授、櫻井公人教授、須永徳武教授、池田毅教授、大山利男准教授、關智一准教授の7名の先生方が、経済人クラブからは10名のメンバーが参加しました。

昨年まではコミュニケーションを深めるために懇親会を中心に行っておりましたが、3回目となる今年は経済学部の先生方の東日本大震災の被災地である陸前高田市への訪問についての報告をしていただき、立教大学と経済クラブが共同して復興支援を行うことができないか、ということについて勉強会を行い意見交換を行う場を設けていただきました。



一経済学部からの陸前高田市訪問の報告

経済学部では、東日本大震災被災地の現状を把握するとともに復興支援活動の可能性を探るために、平成25年9月5日(木)と6日(金)の2日間、郭経済学部長、池上教授、櫻井教授が岩手県陸前高田市を訪問されました。

訪問先は、陸前高田市役所、陸前高田市内視察、仮設商店街等で、市長、市議会議員、経営者等の地元の方々、復興の進捗状況や抱えている課題などについて意見交換をされました。

勉強会ではその様子をご報告いただきました。

一陸前高田市の復興の現状

●市街地を再建するための土地区画整理等を進める際にも、震災復興であるにもかかわらず特例が認められないため、すべての地権者を探し出してひとりひとり同意をもらわないと進められない等、国(復興庁)の復興現場に対する理解が薄

く、事業が進みにくい。

●国庫補助金や復興支援金などは予算として市に下りてきているものの、地元のニーズとのズレがあり、国が定めた目的以外では使用できないため資金が眠ったままになっている(震災前の市の年間予算の2倍以上の金額が眠っている)。

●仮設住宅居住者の現状を把握していないために、住民の正確な情報(人口、現住所、就業状況等)が把握できていない。

●経営者からは、震災後早急に操業を再開した企業には、その後に成立した助成金を受けられなかったり、震災後の設備投資のための負債に支援がなかったりと補助金、助成金等の使いにくさが指摘された。

このようなことから、震災後2年半経った現在も、がれき撤去などの復旧は進んでいるものの、本格的な復興は課題が多くまだまだ緒に就いたばかりとの印象を受けた。中長期的な視点に立った復興計画の重要性と生活の安定化を支援する

社会サービスや地域経済の活性化への支援の意義が拡大しており、経済学部としての持続的な支援の可能性を検討していきたい、と結んで報告を終わられました。

一先生方と経済人クラブとの意見交換

経済人クラブの参加者からも、関東大震災や阪神淡路大震災と比較しても今回の東日本大震災の復興のスピードは極端に遅いように感じられるが、その原因はどこにあるのか、との声が上がりました。

地震の再発や津波の再来に備える街づくりか、かつての街並みを取戻し、震災前の生活に戻すのか、といった点でも復興計画は分かれてしまい、復興を進めていくことの難しさは私たちが考える以上のものがあるようです。そして、部外者である私たちが復興計画そのものに関わることは難しいのかもしれない。

しかしその一方で、操業を再開した地元の企業やAEONが郊外の大型のショッピングモール



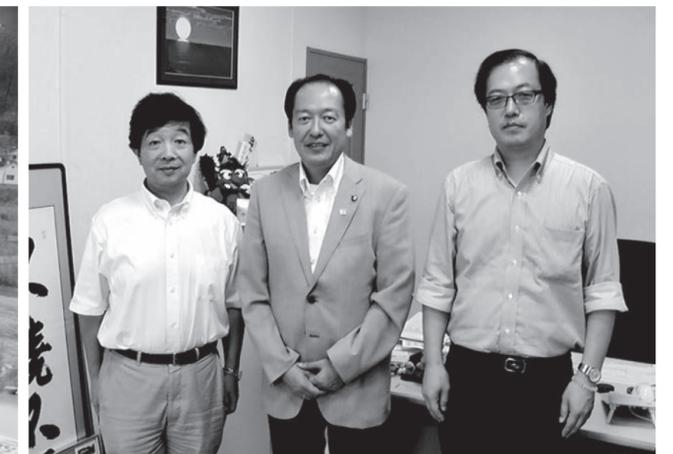
未だに残る瓦礫の山。



復元され話題になった奇跡の一本松。



かつては住宅が立ち並んでいた市街地ですが今は草が生い茂っています。



池上岳彦 教授(左)、戸羽 太 陸前高田市長(中央)、郭 洋春 経済学部長(右)

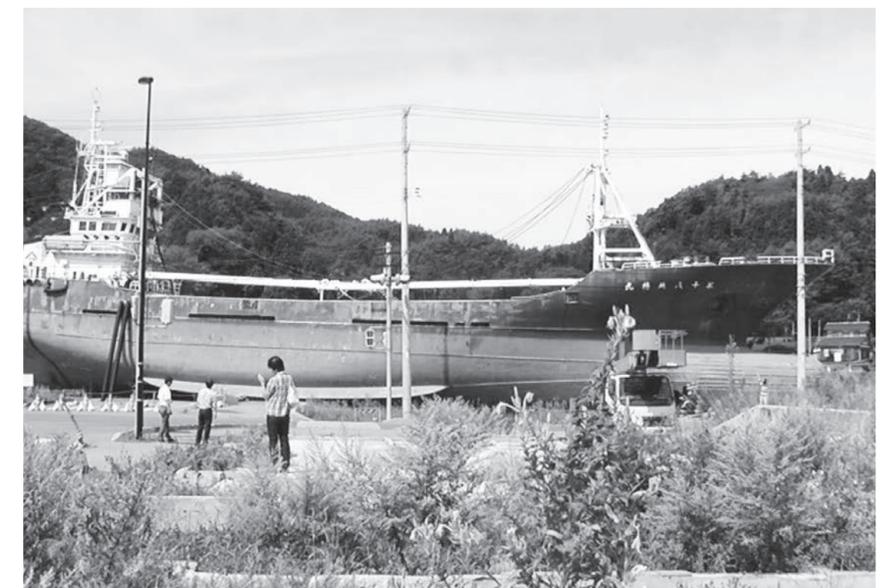
を開業したりと、積極的に活動を行っている企業もあり、私たち経済人クラブも支援に参加する可能性を探っていく必要性を感じました。

経済学部の先生方からも、また被災地を訪問されたことのある経済人クラブの参加者からも、一度現場を訪問し現状を見てみることで、地元の方々の抱える課題とニーズとを直接聞いてみる必要があるとのアドバイスをいただきました。

そこで、経済人クラブでも陸前高田市を訪問する機会を設けることを検討していくことで勉強会を終えました。

その後、参加者全員で食事をしながら、被災地支援についてだけでなく、立教大学の今後の発展のために立教大学と経済人クラブとが連携していくためのアイデアを出し合いながらコミュニケーションを深める懇親会を行いました。

一吉原 伸隆 H4営一



陸に乗り上げた船はこの後間もなく解体撤去された。



立教発 ▶ 若い力!

ユニークビジョン株式会社

今回、こちらで当社の紹介をさせて頂くことになりました。平成9年物理学科卒業の白土と申します。2008年にユニークビジョン株式会社を創業いたしました。「企業と顧客を直接つなげる」ことを事業コンセプトにしております。

これまで、企業はマスコミを中心とした広告で、消費者に自社の商品を知ってもらい、購入につなげていきましたが、皆様ご存知のように、広告の効果は落ち続けています。

情報量は爆発的に増加し、消費者は自然と広告から目を逸らすようになって来ています。

テレビを見ていても、CMになったらチャンネルを変える、HDレコーダーで予約をして、CMを飛ばして見る。新聞や雑誌でも、広告のページはよほど興味がない限りは飛ばす。

ウェブで検索しても、一番上と右側は広告だと知っているのも、そもそも見ない。ウェブサイトを見ても広告バナーと思われるボタンはクリックしない。皆さんも、自然と広告を避けていることに気が付かれると思います。

ただ、企業はこれらの広告を費用を出して掲載しているのです。こんな中で、どうしたら消費者とのコミュニケーションを取れるのでしょうか。

これまで書いてきたように、消費者は、既に企業からの宣伝文句やマーケティングメッセージにはうんざりしています。自分に関係のある情報、自分がトクをする情報、見て楽しい情報が欲しいのです。

そこで注目されているのが、ソーシャルメディアやスマートフォンになります。



TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアで、消費者に情報を届けるためには、消費者に企業のページを「フォロー」もしくは「いいね!」してもらう必要があります。つまり、消費者自らに「その企業からの情報が欲しい」と許可してもらう必要があります。

そのためこのような方法をパーミッション(許可)マーケティングと呼んだりします。また、せっかくパーミッションをもらって、コンテンツ(情報)を配信できるようになっても、それが企業のひとりよがり、面白くなければ、また「フォロー」や「いいね!」を解除されてしまいます。

そのため、コンテンツで消費者を惹きつける方法をコンテンツマーケティングと呼びます。これまでのように、営業で電話をかけまくるという方法とはまったく別で、コンテンツで消費者を惹きつける方法です。

コンテンツマーケティングとしては、自社の商品に関するコミュニティを作って、同じ仲間同士で

意見交換をしたり、そこで出した意見が、今度は商品に反映されたりという仕組みを提供することも考えられます。

最近では、アーリーアダプターと呼ばれるような消費をリードする消費者は、ほぼみんなスマートフォンを活用しているので、このような仕組みはスマートフォンで提供することが望ましくなっています。

当社、ユニークビジョンでは、このように企業が、ソーシャルメディアやスマートフォンで消費者と直接つながるための仕組みを提供しております。

ご興味があれば、お気軽にお声がけください!

ユニークビジョン株式会社
代表取締役社長
白土良之(平成9年物理学科卒)
<http://www.uniquevision.co.jp/>
tel : 03-6434-9993
email : shirato_yoshiyuki@uniquevision.co.jp

株式会社ねこぱんち



株式会社ねこぱんちは、製品やサービスが世の中に広まっていくためのお手伝いをさまざまなかたちでしている会社です。例えば歯医者さんの集患のために待合室でアートの展示会を開催した

~いいモノ・コトを世の中にプッシュ!~

り、犬のしつけ教室の事業拡大のためにビジネスコーディネートをしたり、アパレルブランドのFacebookページの企画・運用をしたり。正攻法では難しいマーケティングの課題にアイデアで挑んでいます。

1998年に文学部心理学科を卒業して、大手損保、人材派遣会社、エンタメ会社、国会議員秘書を経て東日本大震災直後2011年4月に会社を設立しました。母子家庭支援団体の広報をしていた時に、対象となる人に大切な情報がなかなか届かないジレンマを感じた経験から、いいモノ・コトを世の中に押し出して届ける事業をしようと決心しました。

名刺には「ねこの手をお貸しします」といれています。企業によって課題はさまざま、解決法もさまざまですから、弊社はこれしかしませんとは言いません。ささやかな力ですができることがあれば全力でお手伝いをさせていただきます。ねこの手かもしれません(笑)

株式会社ねこぱんち
代表取締役
満木葉子(みつき ようこ)
東京都港区六本木7-15-17 ユニ六本木7F
www.nekopancho.jp
email : info@nekopancho.jp

第63回 立教経済人クラブゴルフ会



平成25年7月27日(土)、第63回立教経済人クラブゴルフ会が開催されました。

今回も昨年に続き東京ゴルフ倶楽部です。26名7組のご参加を頂きました。天気予報によると1日雨で雷雨も、と言うものでしたが、幸い曇りときどき晴れになりました。

そういえばパーティーの時に本日の予約をして頂いた山元 春三先輩が「私とはんでもない晴れ男なんです。」とおっしゃっていましたので、そのお陰かもしれません。風もあり、いつものかんかん照りから比べれば快適でした。それでもかなりの暑さでしたが。

その暑さを制しての優勝は 加藤 陸夫さん(昭和57年卒) 43 44の87、ハンディ 20でネット67 でした。和田会長より優勝カップが授与されました。準優勝は大屋 高志さん(昭和63年卒) 45 44の89、ハンディ 16でネット73 でした。和田会長よりクリスタル製の盾が授与されました。

その後、和やかなパーティーへと続きます。初参加の大庭 忠良さん、中川 真佐志さん、伊東 龍也さん、鈴木 晴仁さんたちに一言づつご挨拶いただき、山元先輩に締めをお願いしました。

最後に恒例の記念撮影にてお開きとなりました。

次回は12月初旬を予定しております。皆様、奮ってのご参加を宜しくお願いします。

—長倉 一裕 S59法—

グルメ会(タウンクラブ)

2013年9月25日(水)、品川にありますシンガポール・シーフードの有名店「シンガポール・シーフード・リパブリック」の個室を借り切って、9月タウンクラブ、秋の『グルメ会』が開催されました。

品川駅徒歩1分という非常に便利な場所にも拘らず、お食事のみならず、店内、スタッフ等々異国情緒溢れる雰囲気にも包まれ、まるでシンガポールでお食事している様な空間でした。

本国(シンガポール)で経験のある方もいらっしゃると思いますが、生きたマッド・クラブ料理をはじめとしてエビ・カニ類を様々な味付けで頂き、シンガポールにふさわしい多国籍料理を思う存分堪能させて頂きました。特に、赤道直下のシンガポールのシーフード、名物「マッドチリクラブ」は絶品で、「両手」を駆使しフィンガーボールのお世話に



なり、蟹と格闘しながらも美味しく頂き、楽しい時間を過ごさせて頂きました。

—庄司 祐子 H16院ビー—

ウェルカムナイト

11月20日18時30分から、新入会員を歓迎するイベントであるウェルカムナイトが開催されました。場所は、ホテルオークラの最上階にある「スターライト」個室で、おいしいお料理とお飲み物もフリードリンクでいただき、大いに盛り上がりました。

当日は、新入会員同士の交流も盛んにおこなわれ、この後のクリスマスパーティーや、賀詞交歓会での再開を楽しめる集まりとなりました。ウェルカムナイトは、1年に2回、6月と11月に開催いたしますので、今回参加できなかった新入会員の方々は、是非次回ご参加をお待ちしております。

是非次回ご参加をお待ちしております。

—昆 凡子 S54仏—



徒然なるままに・・・

宮古の干し鮑

私は、食べることが大好きなわりに好き嫌も多く、また食材や料理の名前などにもあまり興味を持たず、覚えるのに苦労するたちです。先日友人に中華料理の食事会に誘われました。「今日はサプライズ食材があるよ」と言われ待っていると、「宮古産干し鮑」のお料理が出てきました。何も知らない私が、何故鮑がサプライズなのかわからずにいます

と、料理長さんから「日本人は鮑をたいてい生で食べます。宮古の干し鮑は、その味わいと日本の加工技術を高く評価している中国に、昔からすべて輸出されています。ですから日本で食べる干し鮑はすべて中国から10倍の値段で買い取っているのです。今日は本来出てくることがない輸出前の干し鮑をいただいてきました。」と説明がありました。「文化の違いはお金になる」といいますが、これも「戦略的互惠関係」のひとつでしょうか。料理長さんが「福鮑」と呼ぶその鮑は・・・もちろん素晴らしいものでした。

—田中 善之 S57法—

2013年度 経済学部インターンシップ・アンケートまとめ

経済学部では、授業「インターンシップ」を開講しております。夏休みを利用したインターンの受け入れは今年度で9年目となりました。受け入れて頂いた企業様は昨年と同じですので、企業インタビューは省略し、派遣された学生へのアンケートを掲載させていただきます。

アンケート項目

1. インターンシップ実習前の印象や期待など
2. インターンシップ実習後の感想
3. 今後インターンシップを受講しようとする学生、あるいは受け入れ先企業へ一言

■ 経済学科3年 女子

派遣先:(株)プラン・ドウ

1. 社会人の経験ができる、社会人と学生の違いを見つけられる、就業意識を持てる。
2. 予想以上にきつく、社会人は甘くないと学べた。二週間という期間は比較的長いので、社員の方とたくさん関わることができた。
3. 学生へ:職種によって大変さは違うと思いますが、社会人は大変だということが実感として学べて、とてもいい経験になると思います。また、二週間という比較的長い期間実習するので、仕事の内容が見えて一種の業界研究にもなると思います。時間が許す際は、近い将来社会人になる自分のためにも、ぜひ受講してみてください。

■ 経済学科3年 男子

派遣先:(株)三栄コーポレイション

1. 私は、商社に派遣させていただきました。初めは、商社というと単に海外との商品の取引をしている

ものと思っていましたが、実際は、商品の企画から販売まですべてを手掛ける業務であることを実感しました。仕事というものに抱いていた既成の概念を壊すよききっかけになりました。

2. 実習後は、実際に業務に触れる中で、自分がどれだけ仕事に対して甘い考えを持っていたか実感しました。どの仕事にも制限時間はあり、常に時間との闘いであることを痛感しました。これはグループでの作業である仕事において、自分のスケジュール管理は第一にできなくてはいけない能力なのだと感じました。そのほかにも、商談に同席させていただいて、商談の進め方など、今後に生きる経験ができ、有意義な2週間であったと思います。
3. まず、インターンシップ生として受け入れていただいた三栄コーポレーションの方々には貴重な経験をさせていただいたことを深く感謝いたします。大学では学べない「仕事」を肌で感じさせていただき、また、会社の第一線で働く方々からたくさんのお話を聞かせていただき、楽しくも学びの多い充実したインターンシップとなりました。これからインターンシップの受講を考えている学生は、「迷っているならぜひ受けてください!!」というのが素直な意見です。2週間と聞くと長いと感じる方も多いと思います。しかし、1dayインターンシップなど、一般的なインターンシップでは会社の

説明を受けて終わりというものが多いです。しかし、私はこのインターンシップで、実際に業務に触れることで自分が社会に求められる能力に気づくことができました。感じ方は人それぞれですが、必ず実りのある2週間となるはずですよ。

■ 経済学科3年 男子

派遣先:日本ビー・エヌ・アイ(株)

1. 社会人とビジネス上で接する機会を得られ自分自身に何が足りないのかを分析できる期待がありました。
2. 自分には何があり、何が足りないのかを考えることができました。
3. この機会を無駄にせず頑張ってください。

■ 経済学科3年 女子

派遣先:E. OCT(イー・オクト)(株)

1. 自分が社会人になることへの不安な気持ち、また、大学生活3年目で改めて新しいことに挑戦したいという思いがあった。
2. 働くということについて自分なりに考えを持つこと、自分自身についても見直したりすることが出来た。
3. 学生生活の中だけでは気付かなかったことを知る機会となり、受講して本当に良かったと感じます。

連載

グローバルリーダーへの道(第4回)

象徴的なグローバルリーダーから考える

昨日(11/18)、店頭公開された頃から15年間以上も取引させていただいている一部上場企業の課長職研修を行ってきました。研修の中でグループディスカッションを行いました。その一部をご紹介します。

「グローバルリーダー」と言う言葉から直ぐに思い浮かぶ人物を考えてみましょう。(3分間)企業内研修や大学の授業等で、象徴的な人物を訊ねると、以下の方々の名前が掲げられます。

スティーブ・ジョブズ、カルロス・ゴーン、バラク・オバマ、小泉純一郎、イチロー、孫正義、柳井正、等。(敬称略)いかがでしょう?これらの方々には共通するものと考えて、今後の意識や行動の変革に役立てていただければと思います。

以下、リーダーの要件を纏めてみます。ご自身と重ね合わせ、セルフチェックして下さい。

1. 強い信念を持ち、軸がぶれない

一度決めたことはどんなことがあってもやり遂げるという強い意志があり、自分自身の軸がぶれない。

2. 決断力・使命感・責任感がある

リーダーは社会性が求められる。無私利他の精神を持って、犠牲的な精神で物事に取り組むことが必要。

3. 明確なビジョン(志)を持つ

リーダーとして組織のビジョン・方向性を示し、語り続けることはチームメンバーの結束力・団結力に繋がる。

4. コミュニケーション能力が高い

伝える内容のみならず、ジェスチャーや声の抑揚があり、伝え方も卓越している。同時にきちんと聴く耳を持つ。さらに、人間性・人柄やこれまでの実績に裏付けられているかが大きい。

5. よい笑顔と明るさを持つ

厳しいなかにも子供のような無邪気で純粋な部分がある。笑顔が素敵でチャームアップな部分も共通項である。

バラク・オバマ大統領は最もバランス良く上記の要件を兼ね備えていることが良くわかります。ケネ

ディー元大統領以来の逸材と言われる所以です。これに加え、グローバル・マインドセット(世界全体を踏まえた思考様式)とグローバル・コミュニケーションスキルセット(異文化の理解および外国語によるコミュニケーション能力)を身に付ければ鬼に金棒でしょう。

また、研修を行った後、グローバル・コミュニケーションスキルセットを抜きにすれば、この会社を40年前に創業された現会長は5つの要件が全て備わっていることを受講生とともに確認した次第です。リーダーの原理原則、大切にしたいものです。

—藤田 聡 S62営—

ご質問・ご意見・ご感想があれば、
fujita@v-change.co.jpまで。

蛇足ですが、弊社の中小・ベンチャー企業向け社員力向上支援サービス「人材開発研究所」が先日、日経産業新聞のトップ面に取り上げられました。「中小企業の組織活性化から日本を元気に!」で邁進しております。

ご関心があれば、
<http://www.v-change.co.jp/>をご覧ください。



Christmas Party 2013



クリスマスパーティーのご案内

日ごとに秋の気配も深まり、クリスマスパーティーのご案内を差し上げる季節がやって参りました。

会場は、2012年新装なった「パレスホテル東京」にて開催致します。

素敵な空間と、美味しいお料理、そして楽しい企画(本年は格調高く本格的なオペラをお楽しみください)で皆様をおもてないたします。また恒例のプレゼント交換会も予定しております。ご参加の際には、お一人様1点プレゼント(3,000円前後)をご用意いただきたいと存じます。

皆様奮ってご参加いただきますようお願いいたします。

会 長 和田 成史
活性化委員長 山田 晴久

日時：12月10日(火) 18:30受付 19:00開会～21:00閉会
会場：パレスホテル東京 千代田区丸の内1-1-1
会費：10,000円



◆ オペラ演奏プログラム

- I G.ヴェルディ作曲 歌劇《ラ・トラヴィアータ》(椿姫)より
「乾杯の歌」(ソプラノ・テノール) G.Verdi “La Traviata” -Brindisi
オペラ歌手がワイングラスを片手に客席で歌います。
近い距離で聴く「オペラ声」は迫力!
- II F.シューベルト作曲 アヴェ・マリア F.Schubert “Ave Maria” (ソプラノ)
- III A.アダン作曲 おお聖夜 A.Adam “O Holy Night” (テノール)
- IV 会場の皆様と合唱
いずれか1曲(讃美歌「あらのの果てに」 or 「もろびとこぞりて」日本語歌唱)等
歌手がリードし、お客様にもご参加いただけます。
歌手は途中から高い声部を歌ってハーモニーを作ります(ソプラノ・テノール)
マイクのいらない生のオペラ声の迫力と、美しい歌声をぜひお楽しみください。

理事会



去る11月5日、昭和41年卒 当クラブ顧問の呉東富会員が経営される新橋亭において2013年度の第2回理事会が開催されました。

当日は、2013年度上期各委員会活動報告、そして財務報告に関するの審議が行なわれ、各々承認されました。その中で今回は特

に、経済学部執行部の教授の方々や東日本大震災で被災された陸前高田市を訪問された件が産学連携委員会よりあり、当クラブとの連携での復興支援活動の可能性を今後探っていくという趣旨の勉強会が、開催された旨が報告されました。

また開会のご挨拶をいただいた和田会長からは、先日、小泉元首相の講演会にご出席されたおりに、直接お聴きになった脱原発の話題を話し

れ、経済人として今後の動向を注視していきたい、また離陸し始めたアベノミクスによる景況に当経済人クラブとしてもしっかりとその軌道に乗って大きく成長して行きたい、と今後の抱負を語られました。

続く懇親会では新橋亭の素晴らしいお料理に舌鼓を打ちつつ、会長以下出席して下さった顧問、副会長、理事、委員長の皆さんより、今後の運営委員会への要望、そして近況報告などについてお言葉を戴きました。

当日ご出席頂いた方々は以下の通りです。(敬称略)

(会長)和田成史、(顧問)長谷川正二郎、鈴木紀子、倉石昇、谷田権、中島一彰、呉東富 (副会長)伊藤守、梅田憲司(理事)中島淑夫、鶴見和雄、大屋高志(事務局長)井口一世、(委員長)昆凡子、守屋裕之、山田晴久、林雄太、徳澄範光、長倉一裕、安東隆司、田中克哉、上小牧政章、湯浅修
以上23名

—湯浅 修 S59産—

満漢全席

去る2月25日、呉 東富 先輩の新橋亭で、年一回のイベント、満漢全席を堪能させて頂きました。

かつて中国の最高の食材を、最高の技術を駆使して調理し、皇帝が食したとされるたいへん贅沢なコース料理です。

毎年この時期だそうです。皆さまも是非お試しあれ!

—長倉 一裕 S59法—



鶏と冬虫夏草のスープ



鯉の揚げ物



熊の手の煮込み

新しく会員に なられた方々

(敬称略)

畔蒜 誠

昭和53(1978)営
城北信用金庫
本店営業部 常勤理事部長
116-0002 荒川区荒川3-79-7
TEL:03-3891-2111
FAX:03-3891-0314
業種:信用金庫

上木 克司

昭和44(1969)営
(株)タイホウ物産
代表取締役会長
733-0022 広島県広島市西区天満町18-13
タウンバル坂本201
TEL:082-297-6015
FAX:082-297-6016
業種:商品販売(食品・環境事業の関連商品)

金井 宏夫

昭和52(1977)産
(株)アール・エス・シー
代表取締役社長
170-8630 豊島区東池袋3-1-3 サンシャインシティ
ワールドインポートマートビル9階
TEL:03-5952-7211
FAX:03-3986-0549
E-Mail:kanai@trsc.co.jp
業種:ビルメンテナンス、人材派遣、介護事業

川口 俊孝

昭和53(1978)経
(株)悠心
取締役 営業部長
104-0061 中央区銀座2-8-9木挽館銀座ビル5F
TEL:03-6228-6408
FAX:03-6228-6409
E-Mail:t_kawaguchi@dangan-v.com
業種:液体用空気侵入防止容器開発

城戸 博雅

平成2(1990)経
SBI損害保険(株)
代表取締役社長
106-6018 港区六本木1-6-1泉ガーデンタワー 18F
TEL:03-6229-0193
FAX:03-3505-6343
E-Mail:hkido@sbisonpo.co.jp
業種:損害保険業・金融業

黒田 理絵

平成2(1990)英
地盤ネット(株)
役員秘書
103-0027 中央区日本橋1-7-9-6F
TEL:03-6265-1803
FAX:03-6265-1804
E-Mail:kuroda@jibannet.co.jp
業種:サービス業(その他)

小暮 薫

昭和54(1979)営
(株)フォクシー
常務執行役員
104-0061 中央区銀座6-8-1
TEL:03-3573-3803
FAX:03-3573-3361
E-Mail:kogure@foxey.co.jp
業種:高級婦人服の製造・販売

瀧田 勝彦

平成6(1994)国比
(有)人事・労務
チーフコンサルタント
111-0036 台東区松が谷3-1-12
松が谷センタービル4F
TEL:03-5827-8215
FAX:03-5827-8216
業種:社会保険労務士(人事評価制度・賃金制度の構築)

中沢 有美子

平成21(2009)営
フルライン(株)
管理部
102-0083 千代田区麹町3-6-5麹町GN安田ビル3階
TEL:03-3263-2761
FAX:03-3263-2762
E-Mail:nakazawa@full-line.co.jp
業種:コンサルティング

山本 彰

昭和56(1981)経
日本ピストンリング(株)
代表取締役社長
338-8503 埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
TEL:048-856-5016
FAX:048-856-5041
E-Mail:ayamamoto@notes.npr.co.jp
業種:自動車・陸船用内燃機関部品の製造、販売

吉川 一弘

昭和58(1983)法
城北信用金庫
営業推進部 地域支援グループ 副部長
114-8521 北区豊島1-11-1
TEL:03-3913-1149
FAX:03-5390-1813
E-Mail:k_yoshikawa@johokubank.co.jp
業種:信用金庫

【お詫び 訂正】

会報60号で新会員として紹介された方で、間違っている方がありましたので、訂正いたします。大変失礼いたしました。

高山 幸治

平成13(2001)経
(株)高山商店
取締役営業部長
079-0075 練馬区高松3-21-15
TEL:03-3990-1261
FAX:03-3990-3023
E-Mail:gari@jasmine.ocn.ne.jp
業種:食品(生姜漬物)製造業

編集後記

昨年10月に「卒業20周年同窓会」が校友会の主催で開かれ、280名が集まりました。

それ以降、我々 H4 年卒は応援団の幹事を中心に年に2回ゴルフコンペを開催したり、同期が経営する飲食店で飲み会を開催したり、同期で会う機会が増えました。ビジネスの輪も広がっている様です。20年振りに会う人間でも学生時代の濃密な繋がりから、瞬時にその当時にタイムスリップ出来る事が堪らない快感です。最近、フェイスブックなどソーシャルネットワークの普及で格段に周りの人間に通知する手段が増えて便利になったと実感します。反面、個人の行動などがオープンになりすぎて、本人不在の間に空き巣被害にあったなど、ソーシャルネットワークを悪用した犯罪も耳にします。情報管理にはくれぐれも気をつけたいものです。

— 神津 港人 H4 営一

2013年度 事業計画書

開催日	事業	場所	参加募集
2013年12月8日	第64回ゴルフ会	よみうりゴルフ倶楽部	(募集)
2013年12月10日	クリスマスパーティー	パレスホテル東京	(募集)
2014年1月29日	新春名刺交換会	日比谷松本楼	
2014年3月	朝食勉強会	ザ・ペニンシュラ東京	
2014年3月15日	グルメ会	場所未定	



Facebookで経済人クラブのグループに参加しよう!
セミナーや新製品の告知、交流の場としてドシドシ投稿して下さい。

立教経済人クラブ ウェブサイト 立教経済人クラブでの、過去の行事や
<http://www.r-keizaijin.net> 活動はウェブサイトでご覧頂けます。